

ミニ展示

沼田は太古の水族館

Ancient marine mammals in Numata



沼田の水生哺乳類

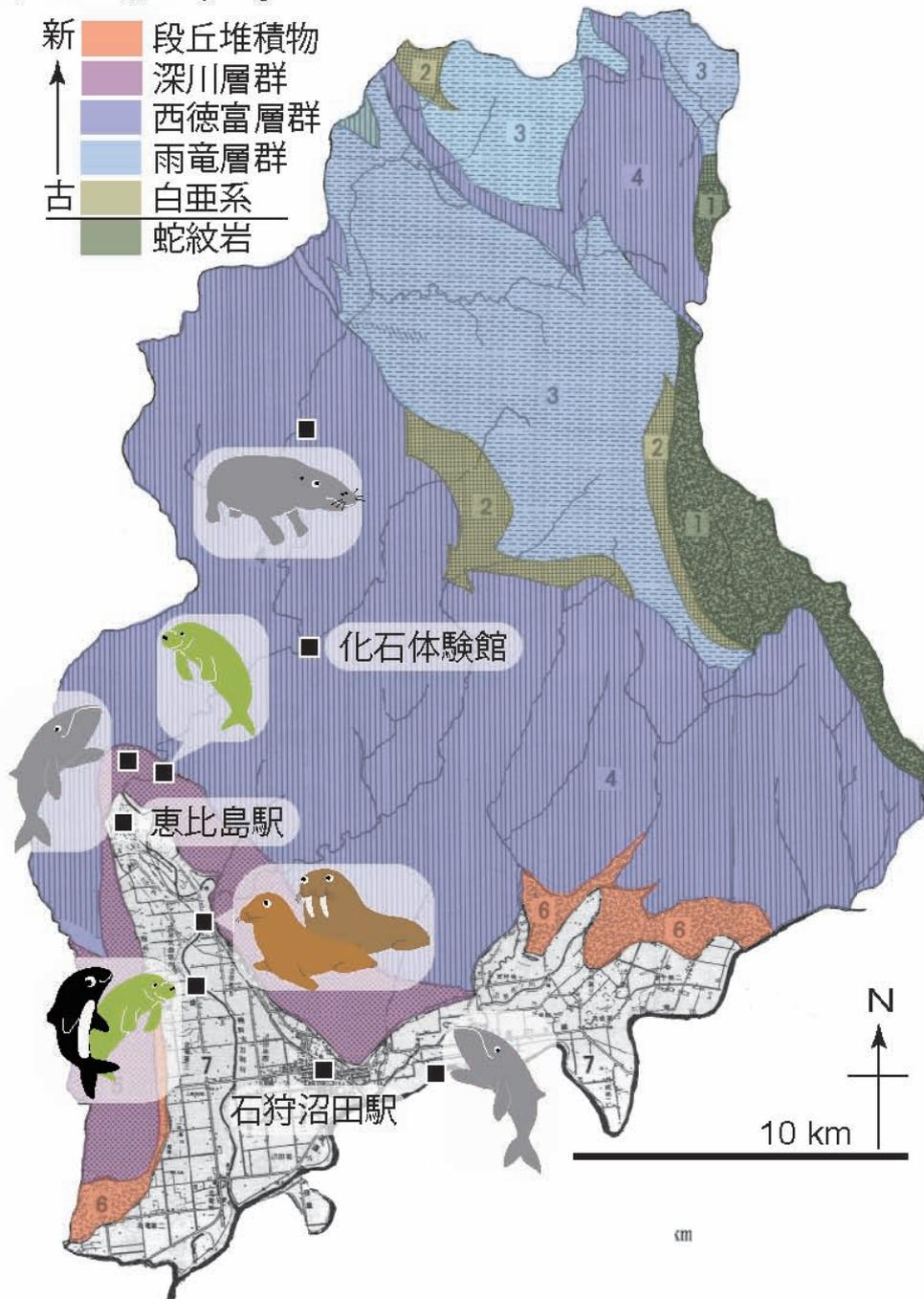
沼田町から多く見つかるのが海生哺乳類です。彼らは海に生きる哺乳類で、全部で7グループいます。そのうち、沼田町からは4グループも見つかっています。まるで、水族館にいるかのように色々な生き物を見ることができることが、沼田町産化石の特徴です。





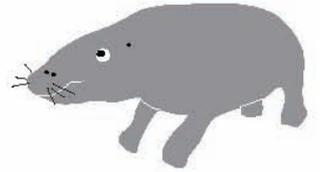
どこから？

沼田町の地層は、北にいくと古く、南では新しい傾向があります。そのうち、海の哺乳類が見つかる化石産地を地図に示しています。



そくちゅうるい

謎の東柱類



東柱類は絶滅しており、今はどこにもいません。左図のような姿をしていたと考えられています。

沼田町産の東柱類は、2つの臼歯が短く報告されています。標本は1950年代に北海道大学に所蔵されましたが、それ以来、沼田から新たな東柱類の発見はなく、新発見が待たれます。

その臼歯が沼田町で産出したのは旧古河雨竜鉱業所（沼田町浅野、幌新太刀別川中流）の幌新層（中新統中期、およそ1600から1380万年前）です。幌新層は沼田町の北部（幌新地区）に分布しています。

旧古河(雨竜)炭坑の入り口
この坑道で、発破直後に東柱
類化石が発見されました

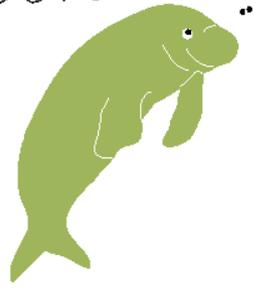


デスモスチルス



新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館）提供

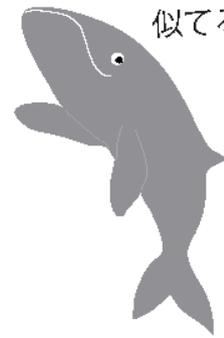
クジラじゃないよ



かいぎゅうるい

海牛類

似てるけどね



海牛類は後足が無くクジラに似ていますが、クジラよりもむしろゾウやデスマスチルスに近いグループです。現代でもジュゴンとマナティーが熱帯から亜熱帯の海に生息しています。海の哺乳類としては珍しい草食です。

沼田町からは2種類の海牛が古沢仁学芸員（現・札幌市博物館活動センター、元・沼田町自然史研究室）によって研究報告されています。ドウシシレン (*Dusisiren* sp.) は幌新から発見されました。後期中新世でおよそ920から730万年前です。第二の種類はタキカワカイギュウ (*Hydrodamalis spissa*) で、下部幌加尾白利加層から見つかっており、ドウシシレンよりも時代が若くおよそ5-400万年前です。

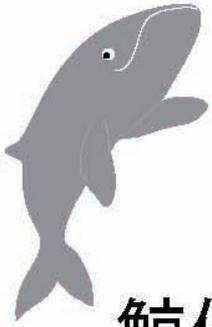
ドウシシレンの背骨と肋骨

沼田産タキカワカイギュウの肋骨



1m





くじらぐうているい

鯨偶蹄類



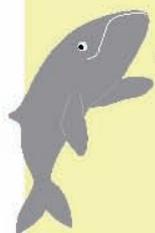
鯨偶蹄類は鯨類（イルカやクジラ）と偶蹄類（ウシやカバ）を含みます。ウシとイルカはかつて別々のグループと考えられてきましたが、遺伝子を調べた結果、非常に近縁だということが分かり、鯨偶蹄類にまとめられました。

沼田町の鯨偶蹄類は、クジラ類が1987年に木村名誉館長によって、又またネズミイルカが2000年に一島啓人学芸員（福井県立恐竜博物館）と木村名誉館長によってそれぞれ研究されています。

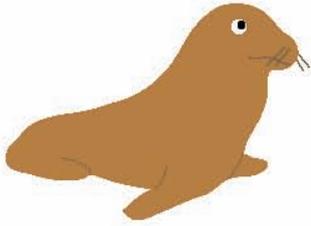
下はクリーニングとは化石を母岩の中から取り出す作業です。

クリーニング作業の様子

- 集塵ダクト
- ゴーグル
- マスク
- ハンマー
- タガネ
- 化石と母岩
- 砂袋



こんな道具を使っています



ききやくるい
鰭脚類



鰭脚類には大まかに分けると、アザラシ、アシカ、セイウチの3グループがあります。沼田町からはセイウチが見つかっていません。

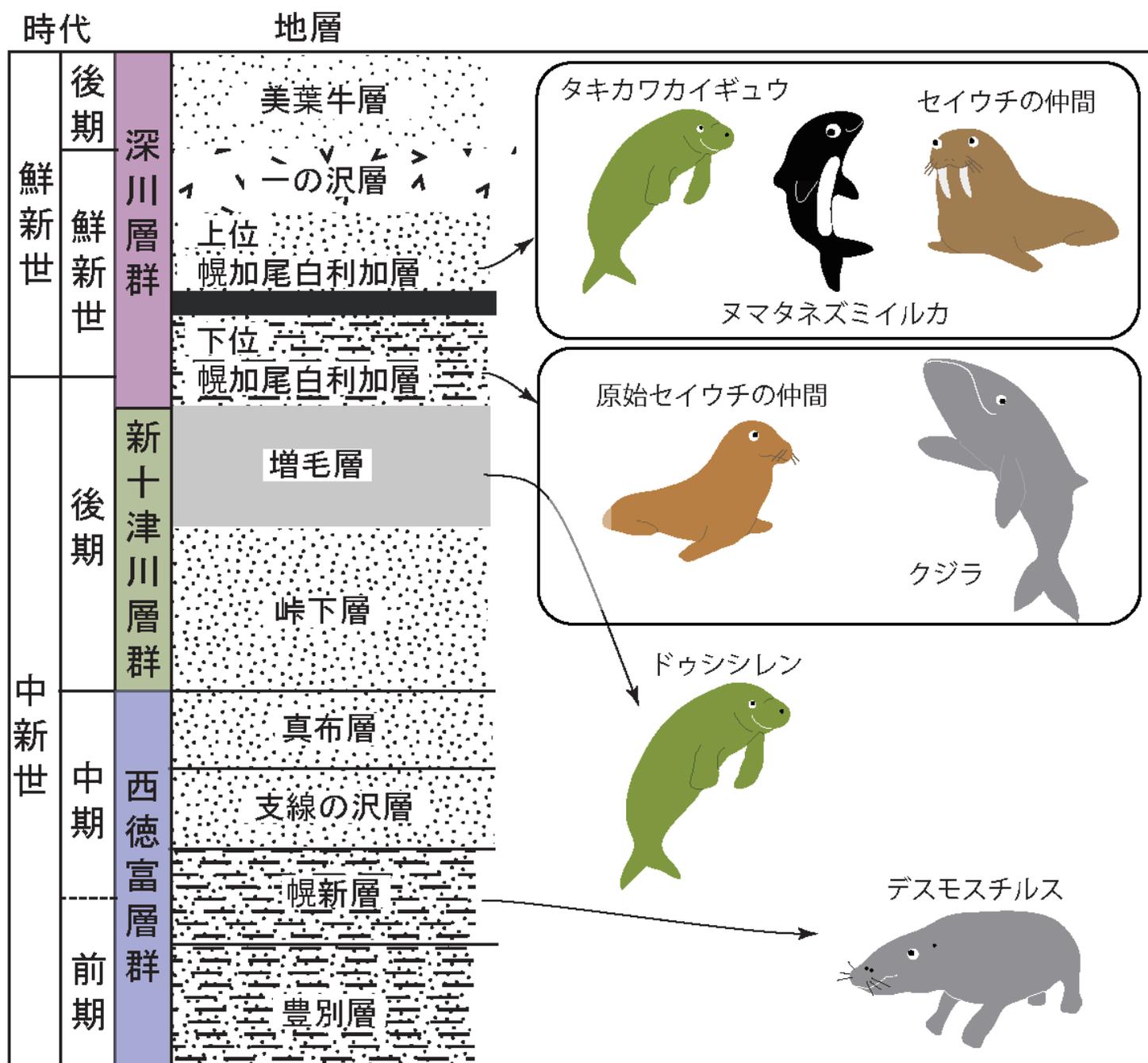
沼田町のセイウチは、キバが薄いセメント層しか持たないことなどから派生的なセイウチ族（*Odobenini*）であると、国立科学博物館の甲能研究主幹らによって1995年に研究発表されました。

1995年の研究に先駆けて、山下茂教諭（当時・沼田中学校）と木村方一名誉館長によって1990年にアシカ科と報告された標本もあります。



新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館）提供

原始的なセイウチはキバが短く、現在のアシカに似ていました。



このミニガイドは2015年ミニ展示「沼田は太古の水族館」に際して作成されました

沼田町化石館

〒078-2202

北海道雨竜郡沼田町南一条2丁目7-49

電話 0164-35-1034

執筆 田中嘉寛